



### ハナミズキ

県教育センター所長 大西 泰博

教育センターの玄関近くに、どこか存在感のあるハナミズキが植わっている。背丈が6、7メートルはあるだろうか。所長室からもよく見える場所にあり、葉が赤く色づく頃にはひときわ目立つようになる。傍らの木碑には、「平成元年 寄贈者 出雲市長 岩國哲人氏」と記されている。岩國氏は、平成元年8月に「国際化と教育への期待」と題して当センターの研修講座に登壇され、ハナミズキは11月に植樹されたと記録に残っている。

平成元年といえば――、初任者研修がスタートした年でもある。

併せて、(当時は教育研修)センターの組織も「一課・二課…」が「初等教育課・中等教育課…」と改められた。平成27年――、課名の変更を伴って組織改編が行われ、国でも若手育成を課題としながら初任者研修の在り方等が議論されている「現在」と、どこか似ているようでもある。教職員への期待は益々高まり、教育改革も加速度を増しているようだ。

ハナミズキの花言葉の一つは「永続性」。同タイトルの曲の中でも「百年続きますように…」と歌われている。続けるためには、本質的なものを見極め、見失わないようにしなくてはならない。他方、チャレンジし、変わり続けなくては継続・発展は望めないことも肝に銘じたい。



### 研修企画担当コーナー

#### 研修紹介シリーズ

#### 「ラストスパート」

12/4 基本研修【10年経験者研修  
(中学校・高等学校合同開催)】

教育法規「学校教育と法」  
危機管理「学校の危機管理」

講師 日本女子大学 坂田 仰

講師による講義・事例検討を通して、『チーム学校』という視点を持ちながら教育活動にのぞむことの重要性について再確認することができました。『チーム学校』の実現にむけて、教職員の共通認識のもと、法規に照らして日々の教育活動を吟味する意識も必要であることを学んだ研修でした。

受講者の感想では「多くの事例を聞いて、授業・部活動の指導など生徒との関わりの場面や、学校体制のなかで改善した方が良い点を考えることができた。生徒の笑顔や安全のため、自身のためにも日頃の教育活動の点検をしていきたい。」など自己や自校の取組を振り返る感想が多くありました。



本年度も、多くの教職員の皆様に研修に参加していただき、残すところ基本研修と教科・領域指導力向上ゼミナールの最終回のみとなりました。研修で学んだことを校内で活用していただけたことと思います。平成27年度もあと3ヶ月余りです。来年度につながる締めくくりをしたいものです。

11/27 専門研修【伝統文化】

「狂言の魅力に触れよう」

講師 能楽師大蔵流狂言方 善竹 隆司

午前の講義では、「鎮魂」と「笑い」をテーマとしている『能』と『狂言』の違いや成り立ち、能の舞台、能の面(おもて)などについて、映像を交えながらお話をしていただきました。午後は、すり足や構え、台詞の発声や所作などをご指導いただき、作品「以呂波」を受講者全員で演じました。

受講者からは、「授業で、大切なものは何か、人にとって普遍的な価値を伝えたい。」などの感想がありました。一日を通して、『狂言』についての理解を深め、日本の伝統文化の魅力を感じる研修となりました。



## 学力向上担当コーナー

## 「学校教育支援事業」のご紹介

# 自主的・主体的な研修活動の支援



本センターでは、「学校教育支援事業」として、右のような取組を行っています。今回は②と③の事業についてご紹介します。

アドバイザー派遣事業では、県内学校、幼稚園・保育所（園）の教職員で構成される教育研究実施団体が開催する研修会に講師を派遣しています。今年度は44研究実施団体に、のべ80件の派遣を行い、研究推進を支援しました（派遣予定を含む）。その具体的な内容・成果については、当センターHPに実施レポートを掲載していますので、ぜひご覧ください。

スーパーバイザー派遣事業では、県内の小・中学校、特別支援学校あわせて8校に、国立教育政策研究所の研究官や大学教授を派遣しています。スーパーバイザーに年間を通して校内研究に関わっていただけるので、学校の課題に合った指導助言を継続的に受けることができ、校内研究が着実に推進されています。

来年度は派遣枠をさらに増やしてスーパーバイザーおよびアドバイザーを派遣する予定ですので、各学校、研究団体における研究推進のために本事業の活用をご検討ください。詳しくは、当センターHPに掲載しますので、ご覧ください。

### <学校教育支援事業>

- ①出かけるセンター（指導主事派遣）
- ②アドバイザー派遣事業
- ③スーパーバイザー派遣事業
- ④土曜自主セミナー
- ⑤教育情報の収集と発信

H27年度 スーパーバイザー派遣事業 実施校一覧

No.	学校名	研究テーマ	スーパーバイザー		
			所属	職名	氏名
1	米子市立美保中学校	「伸ばす力 育む心」 ～小集団を活用した学び合いの中で、生徒同士をつなぎ、個の力を育てる授業づくりの研究～	岡山大学大学院	教授	佐藤 暁
2	鳥取市立湖東中学校	生き方考える教育の実践～自律し自立する生徒の育成	日本体育大学 児童スポーツ教育学部	教授	角屋 重樹
3	倉吉市立河北中学校	集団とのかかわりを通して、自ら考えて行動できる生徒を育てる ～小集団を活かした授業作り～	岡山大学 教師教育開発センター	教授	高旗 浩志
4	鳥取聖学校ひまわり分校	「豊かな心情を育み、たくましく主体的に生きる子どもを育てる ～かかわる力、やりぬく力、考える力を育む授業づくり～」	金沢大学 人間社会研究域 学校教育系	教授	武居 渡
5	鳥取市立大正小学校	「わかった」「できた」「もっとやりたい」が実感できる算数学習 ～子どもたちが創る学び合いの学習をめざして～	横浜国立大学 教育人間科学部	教授	石田 淳一
6	智頭町立智頭中学校	生徒の興味・関心や満足感を高めるための授業を工夫し、 学力向上を目指す	広島大学大学院 教育学研究科	准教授	木下 博義
7	三朝町立三朝中学校	自己指導能力を高める指導の実践 ～「生徒指導の三機能」と「ESD」を活かして～	国立教育政策研究所	総括研究官	西野 真由美
8	八頭町立郡家東小学校	なかまとかかわり合いながら、よりよく生きようとする東っ子の育成 ～伝え合い 人間関係を深め 自分たちでつくる生活を目標して～	國學院大学 人間開発学部	教授	杉田 洋

## ICT活用教育担当コーナー

当センターでは、教職員の皆様に気軽にICTを活用していただきたいという思いで、さまざまな取組を進めています。その一つとして、研修講座ごとに登録されたユーザーが活用できるWebアプリ『moodle』を試験的に導入しました。来年度には、研修に活用できるように模索しているところです。



Webアプリ (moodle) を活用すると  
こんなことができます

### 意見交換できる掲示板

学習指導案を掲示板に貼り付けることで、事前に指導案を確認し合い、授業者の思いや悩み等を共有したり、意見を出し合ったりすることができる。

### 資料の閲覧

ほしい資料があればダウンロードして印刷し、研修前に講座内容の予習をしたり、研修後に振り返ったりすることができる。

### 課題等の提出

研修講座の事前・事後のアンケートや報告物等を簡単に提出することができる。



## 土曜自主セミナーのお知らせ

土曜自主セミナーは先生方への自主的な研修の場を提供していきたいという考えによるものです。皆様の積極的な参加をお願いします。詳しくは当センターHPで。

1月23日（土） 倉吉交流プラザ  
「アクティブ・ラーニングとその評価」  
講師 静岡大学大学院  
特任助教 遠山紗矢香



2月27日（土） 倉吉未来中心  
「絆を深める学級経営  
～新学期のよりよい学級づくり・人間関係づくり～」  
講師 高知大学  
准教授 鹿嶋 真弓



次年度のスタートは年度内の準備で決まる!